

Q1 想定最大規模降雨とは何ですか？

A1 1000年に1回程度の確率で発生すると想定される降雨です。国土交通省が示すマニュアルに基づき、時間最大雨量147mmとしております。

Q2 大垣市で観測した最大の降雨はどれくらいですか？

A2 大垣観測所において、昭和51年の観測開始以降最大の降雨は平成25年9月に発生した降雨で、時間最大雨量108.5mmを観測しました。

Q3 浸水継続時間とは何ですか？

A3 降雨により浸水深が50cm以上になった時点から、雨水が排除され50cm未満になるまでにかかる時間です。

Q4 区域を指定されるとどうなるのですか？

A4 市民の皆様に特別な対応を求めることはありません。今後今回のシミュレーション結果に基づいて内水ハザードマップを作成し、市民の皆様に周知する予定です。

Q5 市内全域を対象区域にしないのはなぜですか？

A5 指定対象は下水道の雨水事業を実施している区域とされているため、大垣地域の下水道計画区域が対象となります。

Q6

内水ハザードマップとの違いは何ですか？

A6

両者とも浸水リスクを示し、速やかな避難を支援する目的は同じです。違いは、雨水出水浸水想定区域図が浸水範囲や浸水深さを示す「基礎情報」であるのに対し、内水ハザードマップは避難所や避難方法など「避難に必要な具体的情報」も含めた総合的なマップである点です。

Q7

洪水浸水想定区域図との違いは何ですか？

A7

雨水出水浸水想定区域図は、内水を対象にしたものであり、河川氾濫は考慮しておりません。一方、洪水浸水想定区域図は、河川氾濫による浸水区域を示しています。

Q8

過去に浸水が発生していない区域も浸水が発生していますが、正しいですか？

A8

想定最大規模降雨は、過去に降った雨よりもはるかに大きな規模です。このため、過去に浸水実績がない区域においても浸水が発生する想定となっている場合があります。

Q9

雨水出水浸水想定区域図において着色していない区域は安全ですか？

A9

雨水出水浸水想定区域図で浸水想定がない区域でも、雨の降り方、土地利用状況、排水施設の落ち葉や土砂の堆積等により浸水する可能性がありますので注意してください。

Q10

この浸水を解消するために、排水施設を整備する予定はありますか？

A10

雨水出水浸水想定区域図は、住民の避難を支援することを主な目的としており、排水施設の整備方針を決めるものではありません。今後の整備計画については、「大垣市治水10か年計画」をご参照ください。